

**【施策評価調査】**

施策名	3-1-2	環境保全に取り組む人材の育成		96	施策目的 政策「3-1.自然環境の保全と創造」を実現するためには、高根沢町が守るべき自然環境とは何か？、またどのようにして高根沢町の自然環境を創造していくべきか？というビジョンを明確にし、ルール化で明確にしたビジョンを実現できる人材の育成で明確にしたビジョンを確実に運用できる仕組み作り...という3点からのアプローチが必要です。 この施策は、の観点から政策を実現させるために設定しました。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部 環境課	担当リーダー	環境担当	金澤公二	施策内容 自然環境基礎調査(指標生物調査)や環境基本計画の策定、「エコ・ハウスたかねざわ」における地球温暖化対策、省エネルギー教室などの環境学習、自然の素材を使った工作教室など体験メニューの開発・実施に携わる住民を、地域の環境保全活動のリーダーや環境学習の指導員として育成します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	木や竹などの自然素材によるものづくりグループ「木築倶楽部」を発足、「マイ箸づくり」や木工教室の指導者、ボランティアとして活動してもらっています。				

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：環境学習・体験指導員の登録者(人)	平成16年度	計画	10人	20人	30人	40人	50人
	0人	実績	5人	10人	16人		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	評価指標の計画数値は達成していませんが、登録者数は年々増加傾向にあり、順調に推移していると思われます。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
	決算	10,000,000	10,000,000	10,289,365		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	継続
エコ・ハウスたかねざわ運営管理費	H21 現計 10,000,000	利用者数	環境学習や自然の素材を使った工作教室などの体験メニューを更に充実させ、環境保全活動に取り組み人材や指導員の育成に取り組んでいきます。		
再掲	H22 計画 10,000,000	20000人		今後の方向性(総合評価)	継続
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	現状水準維持	継続した学習機会・啓発活動を行いながら、各部課で行っている事業の調整を行いながら新規メニューを組み込む等施策展開を図っていきます。 エコ・ハウスたかねざわを運営するための環境NPO設立に向けた準備を開始します。	環境学習のひとつとして21年度から開始したマイ箸づくり教室(元気な森づくり県民税事業)をさらに充実させ、自然や環境に対する意識の高揚を図っていきます。また、20年度から取り組みを始めている、リユース食器貸出し事業を引き続き実施することにより、イベント時での紙・プラ食器等の使用を控え、ごみの排出を抑制するとともに、エコステーションを併設させ、ごみの分別の周知・徹底を図り、町民の環境への意識を高めてもらいます。
総合評価	エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開の中で、後期計画に向けて、今までの取り組みを検証し、より成果を上げるためにさらに、インパクトのある施策展開ができるような学習プログラム・人材育成プログラムの作成など、将来を見据えた広い視点を持った施策展開を期待する。		